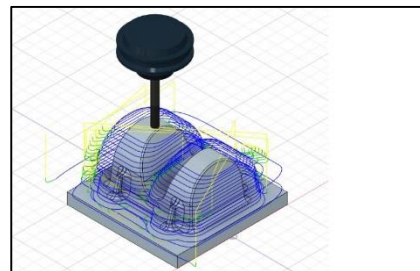


3次元CAD実践講座 受講生募集！

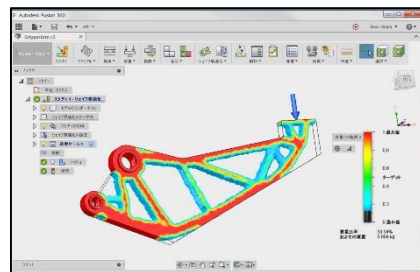
設計から加工までの全工程を行えるオールインワンパッケージの3DCAD/CAM/CAEソフトウェア「Fusion360」のCAM(コンピュータ数値制御(CNC)の工作機械を操作する為の加工プログラムを作成するソフトウェア)、CAE(コンピュータを活用して製品の設計、製造や工程設計の事前検討の支援するソフトウェア)の操作、3Dプリンタへの出力操作を学ぶ講習です。

3D・CAD「Fusion360」の基礎操作を学ぶ基礎講座を7月に開催しましたが、さらに幅広く利用頂く為に、CAM講座、CAE講座を開催します。ぜひ、この機会に操作方法を学んで業務にお役立てください。

※「Fusion360」は月額数千円とリーズナブルな費用で使うことができ、非営利、趣味用途であれば、無償で使うことができます。



CAMによるツールパス作成例



CAEによるトポロジー最適化

研修日程

CAM講座 10月3日(木)

CAE講座 10月4日(金)

※CAM講座とCAE講座は別の講座と成ります。どちらも受講することも可能です。

研修会場

岩手県南技術研究センター

講師

いわてデジタルエンジニア育成センター 講師

募集人員

10名 (1社2名までとしますが、席に余裕が有る時は考慮します)

対象者

Fusion360の基本的な操作ができる方を対象としています。

※他の3次元CADの操作ができる方も含みます。

受講料

各々 2,000円 (※受講の際にご持参下さい)

研修内容

日程	研修時間	種別	内容
CAM講座 (10月3日)	9:30~16:30	講義 ・ 実習	<ul style="list-style-type: none"> ・CAMのセットアップ(ストック設定、ワーク座標系、ポスト処理) ・工具設定、切削条件設定、データの修正 ・ツールパス作成(ポケット加工、負荷制御加工、等高線、走査線など) ・加工検討、NCデータ作成、加工指示書の作成などについて理解する。
CAE講座 (10月4日)	9:30~16:30	講義 ・ 実習	<ul style="list-style-type: none"> ・CAEの概要(材料力学、有限要素法) ・線形静解析の一連の流れとして、形状入力、材料設定、メッシュ設定、拘束条件、荷重設定、接触条件、解析結果の確認方法などについて理解する。 ・トポロジー最適化と3Dプリンターへの出力方法

※当センターでは、3Dプリンタ「stratasys社製 Print SEシステム」を令和元年10月1日から令和元年10月31日まで期間限定設置し、ご利用いただけます。

申込期限

令和元年9月27日(金) ※先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法

裏面の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、ファックスにて下記へお申し込みください。当センターホームページからも「受講申込書」はダウンロードできます。

申込先・問合せ先

(公財) 岩手県南技術研究センター 担当：千葉

〒021-0902 一関市萩荘字高梨南方114番地1

電話：0191-24-4688 FAX：0191-24-4689

E-mail：seminar@sirc.or.jp

URL <http://www.sirc.or.jp>

主催：公益財団法人 岩手県南技術研究センター

(令和元年度一関市補助事業／一関市ものづくり人材育成事業)

3次元CAD実践講座 受講申込書

令和元年 月 日

次のことに同意し、下表のとおり受講を申し込みます。

- 受講に関する連絡等に使用します。 ○この情報は目的以外に使用することはありません。
- 収集した情報を、データ処理などのため外部に委託することはありません。

受講講座	<input type="checkbox"/> CAM講座 (10月3日) <input type="checkbox"/> CAE講座 (10月4日) 受講する講座にレ印をしてください。2講座受講可能です。		
(ふりがな) 氏名	()		
年齢	性別 (どちらか○)	歳	男 ・ 女
所属企業			
所属部署・役職			
所在地			
電話番号			
ファックス番号			
メールアドレス	<input type="checkbox"/> 県南技研の人材育成事業の お知らせメールが不要な方はレ印		
※今回の3次元CAD実践講座で学びたいことがありましたらご記入ください。			

この人材育成事業は、一関市ものづくり人材育成事業の補助金を活用し実施するものです。

※受講料 (2, 000円) は、受講日にご持参ください。

**(公財) 岩手県南技術研究センターは、地域企業の
「ものづくり」・「技術開発」・「共同研究」を応援します。**